学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	造形基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の表現を支える基礎的な造形力を養う科目です。四大版式の仕組みを学ぶ印刷実習、Adobe After Effectsによるアニメーション、表現の根底となるデッサン・クロッキーを専門技術の深化と統合を図る。将来の制作に生かせる土台を築くとともに、課題解決に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を重視します。制作への真摯な態度や振り返りの充実度を高く評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
4大版式の仕組みやアニメーション、描画の基礎を習得し、適切な制作工程を論理的に構成する。
【思考力、判断力、表現力等】
制作意図に合わせて作品を構築し、独創的に解決策を探究して、科学的根拠に基づき表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
集中して課題に取り組み、デザインによる社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	4大印刷技法（凸版・凹版・孔版・平版）の仕組みや、Adobe After Effectsによるアニメーションの基礎技術を習得し、適切な方法で作品を制作できる技能を評価する。制作工程を正しく理解し、クロッキーやデッサンを通じた描写の基礎を学び、映像デザインに必要な専門的知識・技術を統合して活用できる力を重視する。	制作意図に合わせて作品を構築し、必要条件に基づいた適切な思考・判断を行う力を評価する。版の仕組みを理解した上で独創的に解決策を探究し、科学的根拠に基づいて制作を進める能力を重視する。アプリケーションを用いた制作工程において、独創的な表現を追求し、課題解決に向けて論理的に構成する力を評価する。	目標を明確に持ち、集中して課題に取り組む姿勢を評価する。問題解決のために自ら解決方法を模索したり、周囲と相談しながら協働的に取り組む態度を重視する。スケジュールに合わせて計画的に作業を進め、ものづくりへの探究心を持って、デザインの発展や社会貢献に主体的に取り組もうとする意欲を評価対象とする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	孔版印刷	凸版・凹版・平版・孔版からなる「4大版式」の理論を学び、その中でも孔版（シルクスクリーン）の構造と原理について深い知識を習得する。カッティング技法を用いたシルクスクリーンの版作りを実践する。専門的な道具や材料を適切に扱い、自身のデザインを正確に版に落とし込むための基礎技能を習得する。	a:4大版式の仕組みを正しく理解し、シルクスクリーンの原理に基づいた適切な方法で作品を制作できる。 b: 孔版の仕組みを深く理解した上で、独創的な解決策を自ら探究し、科学的根拠に基づいて制作に反映させている。 c: 与えられた時間を有効に使い、予定を確認しながらスケジュールに合わせて集中して作業に取り組む姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
2	アニメーション	Adobe After Effectsの基本的な操作方法や機能を学び、映像に動きや効果を与える基礎技術を習得する。アプリケーションを適切に活用し、自らのアイデアを動画として形にする工程を体験する。	a:アニメーションの動く仕組みを正しく理解し、Adobe After Effects等のアプリケーションを適切な方法で操作して作品を制作できる力を評価する。 b:作品制作の工程において、自身の表現意図を具現化するために必要な技法や演出効果を論理的に判断・選択できる力を評価する。 c:明確な目標を持ち、主体的な探究心と計画的な制作に励む真摯な姿勢を評価する。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
3	凹版印刷	凸版・凹版・平版・孔版からなる「4大版式」の理論を学び、メディウムはがしによるイラスト制作（凹版）の実習を行う。これらを通じて、凸版・凹版・平版・孔版の「4大版式」の仕組みを体系的に学び、表現意図に応じた適切な版の選択と制作技法を身に付ける。	a:凹版印刷における専門的な手順を習得し、計画に基づき正確に作業を進める技能を身に付けている。 b:作品制作の工程において、版の仕組みを応用し、独創的な解決策を科学的根拠に基づき探究・表現できる。 c: 与えられた時間を有効に使い、予定を確認しながらスケジュールに合わせて集中して作業に取り組む姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

3	描写力・表現力演習	映像制作の基礎となるクロッキーやデッサンを継続的に行い、対象を正確に捉える観察眼と描写力を磨く。基礎的な造形力を養うことで、自身のアイデアを視覚化し、より質の高い映像デザイン作品を構築するための土台を築く。	a:映像デザインに必要な基礎的な造形知識と描写技術を習得している。 b:第三者に意図が伝わる効果的な視覚表現を構築するための適切な思考ができる。 c:基礎的な造形力の向上に強い関心を持ち、与えられた時間を有効に使いながら、集中して課題解決に主力的・継続的に取り組んでいる。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度